

第31回オリンピック競技大会の東京招致及び 東京パラリンピックの充実を求める決議

オリンピックは、民族や文化の違いを超えて、スポーツを通じて世界の国々が集い、競い合う、喜びと希望に満ちた、世界平和を強く願う人類の祭典である。また、パラリンピックは、1960年に初めて開催され、オリンピック終了後、オリンピック開催市で行われる障害者のためのオリンピックとして、スポーツを通じて障害者の自立と国際親善を図り、世界平和を希求する祭典である。

1964年の第18回オリンピック東京大会は、多くの日本国民に感動と自信を与え、戦禍から復興した首都東京の姿を世界にアピールした。また、1964年東京大会から、障害者のためのオリンピックに「パラリンピック」の呼称が使われるようになったことも記念すべきことである。これを機に、東京は政治、経済、文化が高密度に集積する世界に類を見ない大都市として発展を続け、今日に至っている。

東京オリンピックから約半世紀を経た現在、再び東京でオリンピック及びパラリンピックを開催することは、世界平和を希求する強い意思を世界にアピールするとともに、人と環境にやさしく豊かで安全な都市東京を実現する契機となる。また、アスリートたちの崇高な競い合いと障害のある人々の活躍は、未来を担う子どもたちをはじめ多くの人々に感動を与え、スポーツを通じた健やかな成長と相互理解を促していく。

よって、羽村市議会は、東京、日本、そして次世代を担う青少年の未来を切り開き、障害者の自立を促進して相互理解を深め、多摩地域の振興と発展を目指すため、2016年開催の第31回オリンピック競技大会の東京都招致及びパラリンピックの充実を強く求めるものである。

なお、オリンピック及びパラリンピックの開催にあたっては、都心部だけでなく、多摩地域の発展と市民福祉に資するよう、多摩地域での競技の開催について配慮することを特に望むものである。

以上、決議する。

平成18年6月23日

東京都羽村市議会